

# 国土交通省航空局 航空機検査職

## R4 業務説明資料

国家一般職

機械・電気・電子

情報・物理

化学

# わたしたち

国土交通省は、国土の総合的かつ体系的な利用、開発および保全、そのための社会資本の総合的な整備、交通政策の推進、気象業務の発展並びに海上の安全および治安の確保などを担う官庁です。

航空局は、国の経済発展と国際交流を支える国民の足として定着、発展しており、経済社会の活性化・国際競争力向上のための戦略的基盤としての役割を持ちます。

航空機検査職は、航空局の目的を達成するために、オフィスワークだけではなく、空港内にも働く場所を設けて、知識と経験と五感をつかって安全を支えています。

2022年 6月16日～ 8月26日

R4 業務説明資料

## 1. 航空機の安全を守る

国際基準とハーモナイズした安全性基準をもとに、航空機の設計・製造・整備・改造・運航を検査します。

## 2. 航空に関する企業と対話

日本国内の企業や海外にある工場の担当者やQMSの適応状況について話し合います。

## 3. 空の環境を悪化させない

航空局は、カナダにある国際民間航空機関の理事国として、国際的な技術基準の策定に参画しています。

## 4. 空の技術革新を支える

近未来の移動手段になりえるエアモビリティ、無人で空を飛ぶドローンの発展に挑んでいます。

# わたしたちの役割

# 役割

2022年 6月16日～ 8月26日

R4 業務説明資料

## 飛行検査機

セスナ式 (テキストロン・アビエーション式) 525C型 (サイテーションCJ4) 5機

H27年度導入 JA008G (CKSTR8※)      H29年度導入 JA011G (CKSTR11※)  
3機 JA009G (CKSTR9※)                  2機 JA012G (CKSTR12※)  
JA010G (CKSTR10※)



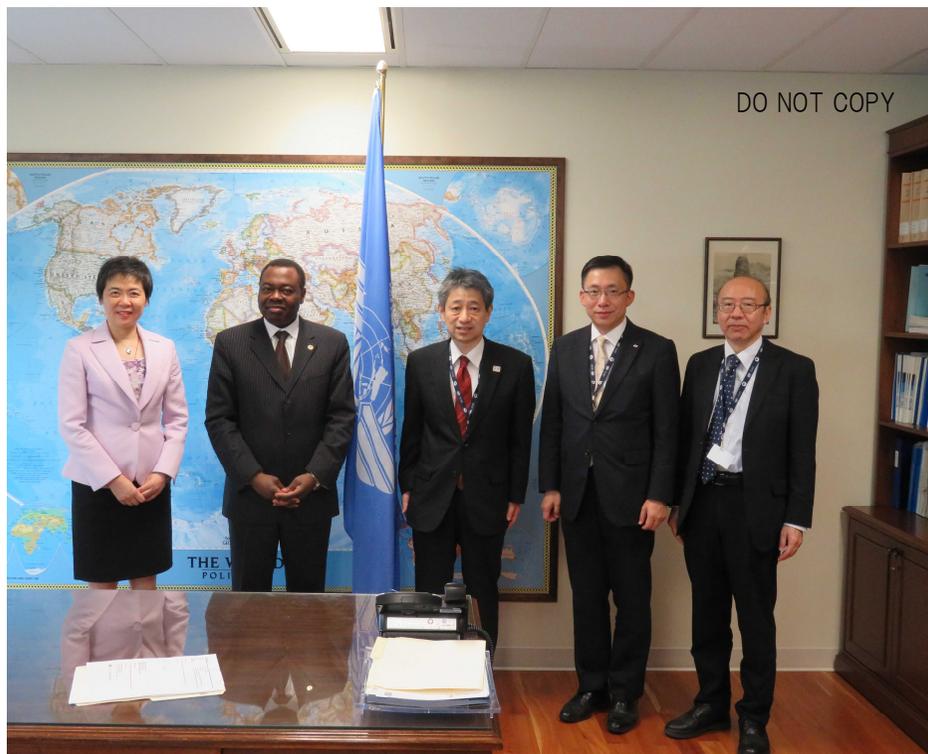
# 検査



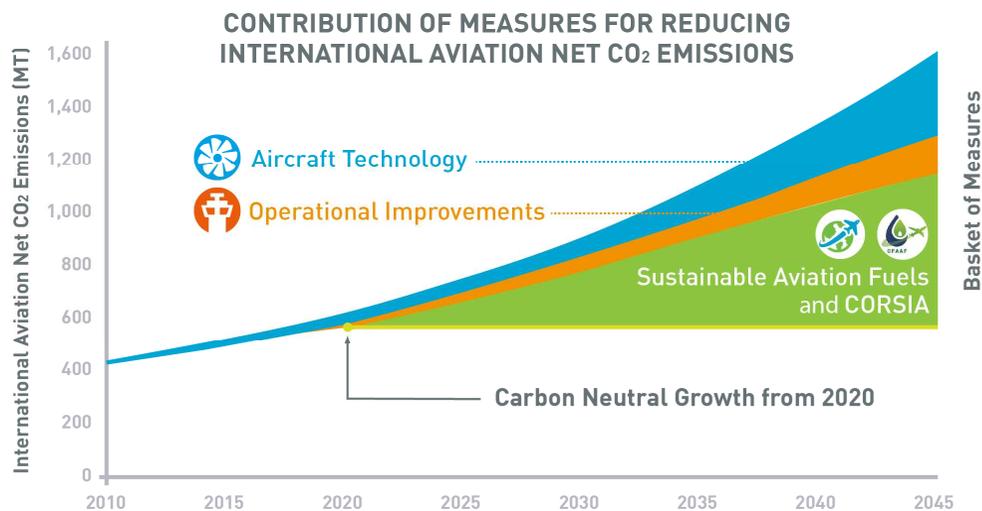
2022年 6月16日～ 8月26日

R4 業務説明資料

# 環境



2022年 6月16日～ 8月26日



R4 業務説明資料

<https://youtu.be/motEZ9FcNfs?list=TLGGhSTyDSYm7RMwNTA0MjAyMg>



2022年 6月16日～ 8月26日

R4 業務説明資料

# 社会への責任

利活用

環境整備

技

試験飛行から商用運航の開始

商用運航の拡大

サービスエリア、路線・便数の拡大

大阪・関西万博

都市：二次交通 → 都市内・都市間交通 → 都市圏交通への拡大(ネットワーク化)

地方：観光・二次交通 → 域内交通・離島交通 → 地方都市間交通への拡大

自家用運航の開始

救急：医師派遣 → 患者搬送

離島・山岳の荷物輸送 → 都市部での荷物輸送 → 輸送網の拡大

ポート設置・運営、不動産、保険、観光、MaaS、医療、新たなビジネス等

人の移動

試験飛行・実証実験等

物の移動

ビジネス波及

航空関連事業

機体の安全性の基準整備

基準整備 (座席数9席以下、操縦者の搭乗有り・無し)

需要に応じた多様な機体の基準整備 (自律飛行等)

機体多様化・自律化・無人化・就航率向上等への対応

技術動向等に応じた制度の見直し

技能証明の基準整備

操縦者・整備者の基準整備 (遠隔操縦を含む)

多様な機体に対応した制度整備

技術動向等に応じた制度の見直し

空域・運航

低高度における安全・円滑な航空交通のための体制整備 (万博における空飛ぶクルマに対する空域管理等)

運航拡大に対応した体制整備

利活用の動向等に応じた制度の見直し

運航安全に関する基準のガイドライン(荷物輸送、万博における旅客輸送等を想定)

高度な運航に対応したガイドライン改訂 (自律飛行、高密度化等への対応)

技術動向等に応じた制度の見直し

事業の制度整備

航空運送事業の基準整備(荷物輸送、万博における旅客輸送等を想定)

高度な事業に対応した基準・制度整備 (操縦者の搭乗しない旅客輸送等)

利活用の動向等に応じた制度の見直し

離着陸場

既存空港等・場外離着陸場の要件整理

既存制度に基づく空港等・場外離着陸場の利用

利活用の動向等に応じた制度の見直し

国際標準に沿った空飛ぶクルマ専用離着陸場の基準整備

社会実装のための環境整備

課題整理  
・建物屋上への設置  
・屋上緊急離着陸場の活用可否の整理  
・市街地等への設置等

環境整備  
・建物屋上設置の基準整備  
・環境アセスメント方法の整備等

建物の建設計画、都市計画、地域計画等への

建物屋上への設置

(既存の建物屋上の利用 → 新規建設・設置)

市街地への展開の本格化

社会受容性

実証地域での住民理解の獲得

万博を通じた認知度向上

受益者の増加、社会課題解決等を通じた受容性向上

試験環境

福島ロボットテストフィールドの試験飛行拠点としての活用・整備、研究・人材育成等の機能拡充

質問はお気軽に、  
応募をまっています。

国土交通省 東京航空局 安全統括室

航空機検査官室 次席航空機検査官

受益者の増加、社会課題解決等を通じた受容性向上  
cab-kensatyo (あつとまーく) mlit.go.jp

安2022年 6月16日～8月26日 保、機体・部品の性能評価手法の開発 R4 業務説明資料

安全性・信頼性の更なる向上、低コスト化

日常生活における自由な空の移動  
新たな価値提供と社会課題解決の